



ライフデザイン学科通信

▶ 世界初!?! のイベント「短大フォーラム」

2017年3月9日・10日、日本の短大の歴史を大きく変えるイベントが本学で開催されました。それが「第1回短大フォーラム～蕾(つぼみ)～」です。全国の短大の教職員と学生が一堂に会し「学生が元気になる」「授業がおもしろくなる」「高校生が憧れる」という3つのテーマについて一緒に議論するという日本初、いや、おそらく世界初の画期的なイベントです。このイベントの発端は1年前に学生が発したひとつ「日本一の短大になりたい」でした。ライフデザイン学科には学科公認の学生リーダー組織D'＊Light(ディライト)があり、結成以来、学生自身が大学の改革に取り組む「学生FDサミット」に参加し、全国の4年制大学との交流を続けてきました。サミットへの参加を重ねるにつれ、D'＊Lightメンバーの中で「4年制大学に負けない日本一の短大になりたい」「そのために全国に先駆けて何かをしたい」という夢がふつふつとわきあがってきたのです。この学生の強い思いと教員サイドで模索していた「全国規模の短大イベントの開催」が結びつき、フォーラムの開催へとつながりました。それ以来、D'＊Lightは一年がかりで教職員、3つの共催校(愛知文教女子短期大学・香蘭女子短期大学・松本大学松商短期大学部)と一緒に準備を進めてきました。

そんなD'＊Lightに有志の学生が加わった計36名の学生スタッフがフォーラムの2日間を支えました。前日の会場の設営・リハーサルに始まり、フォーラム当日は、受付やクロークのサポート、場内の誘導、司会進行、グループワークを円滑に進行させる重要な役割であるファシリテータ、プレゼンテーション大会の運営などの役割を担いました。献身的に、明るく元気にイベント運営を行うその姿を見た全国の短大の教職員、学生からは驚嘆と称賛の声が寄せられました。

フォーラムのエンディングでは、学生スタッフのファンになった参加者の後押しもあり、学生スタッフ全員がステージに上がりました。学生スタッフに対するひととき大きな拍手がわきあがったときこそ、この世界初のイベントの成功を誰もが認めた瞬間でした。

来年度は「第2回短大フォーラム」が松本大学松商短期大学部で開催されます。次は4月からの新入生に新しい感動が引き継がれていくことでしょう。

